

開幕のご挨拶

中国犯罪学学会会長
王 牧

尊敬する西原春夫先生、石川先生、上田先生および日本からの皆様、張副校長、専門家の皆様、学生の皆様：

中国犯罪学学会及び日中犯罪学学術交流会が主催し、中国政法大学が開催校となる第2回中日犯罪学学術討論会は、本日ここに盛大に開幕することになりました。中国犯罪学学会の代表として、また私個人といたしましても、大会の開幕を心よりお祝い申し上げます。はるばる日本からいらっしゃった皆様およびご出席の皆様に、熱烈な歓迎の意を表したいと存じます。

中日両国には悠久の歴史と燦然と輝く文化があり、その両国の文化交流は二千年にわたる歴史を持っております。交流を通じて、相互に参考にし、相互に影響し、長所を取り入れ短所を補って、双方の文化の発展を促進することは、人類文明発展の必然的な道筋であり、基本原則であります。

新しい世紀に入り、世界の経済が一体化した今日では、地域間の協調は日に日に重要性を増してきています。中日両国は、ともに東方に位置しており、似た文化を持つとともに、共通点も多く、協調の基礎はしっかりしています。昨今、両国では多方面にわたる分野での交流が絶えず拡大し、協力は日に日に強まり、アジアの繁栄と安定のために共同して役目を果たしております。中日両国の文化交流は意味深いものと思います。

中日文化交流の一部としての中日両国の犯罪学の交流は、中日両国人民の友好に関心を持っている方々のご推進により、とりわけ特に西原春夫先生の多年にわたるご努力のお蔭で、日に日に密接になり、成果も上がってきており、すでに確固とした交流のバルコニーと交流のメカニズムが形成されております。昨年、北京で最初の中日犯罪学学術討論会が行われました。第2

回目の討論会も本日順調に開会され、来年には第3回が日本で行われる予定です。

西原春夫先生のご努力の下、また特に社会安全研究財団と財団の専務理事上田先生のご支持で、中日両国の犯罪学学术交流は、すでに単純な学术交流から実質的な共同研究にまで発展しております。3年間の中日組織犯罪共同研究プロジェクトは、すでに今年の4月よりそれぞれ中日両国で正式に動き始めました。共同研究と中日犯罪学学术交流は、社会安全研究財団と上田先生のご支持を得ました。中日関係者の努力の下に、中日両国における犯罪学の学术交流と共同研究は必ず素晴らしい成果を取得するに違いない、と信じております。このことにつきまして、中国犯罪学学会を代表し、西原先生、上田先生、石川先生をはじめ、中日犯罪学学术交流に関心を持つ友人の皆様にご感謝いたします。

今回、「交通犯罪に対する法的対策」をテーマとして2日間研究会が行われることになりました。車という現代の交通手段は、すでに私たちの生活の一部になりました。それは私たちに手軽で迅速な手段を提供し、福祉を与える一方で、社会の人びとの生命・身体と財産に対して重大な危険も有しております。我が国においては、近年、交通犯罪は激増し、被害者に苦痛と不幸を与え、同時に社会に重大な損失を及ぼし、その他の社会問題も誘発しています。それゆえ、法律の面においていかにしたら交通犯罪を有効に処理することができるかという問題は、我々が直面する一つの緊急の任務です。刑事法制度でも、また行政法制度でも、整備と改善が必要とされています。この点については、日本の多くの経験が私たちにとって参考するに値するものと信じています。今回の研究会の目的は、中日側の専門家・学者の検討・交流を通じて、交通犯罪の有効な対策を検討することです。今回の研究討論を通じて、必ずや満足のゆく収穫が得られるものと確信します。また、相互の理解・信頼と友好も、いっそう深まるに違いないと思います。我々は今回の研究会において豊かな成果を取得すると期待しています。

今回の大会の間、中国政法大学名誉教授の西原春夫先生と中国政法大学客

員教授の石川正興先生は、特別講演をなさることになりました。講演会の成功をお祈り申し上げます。

最後に、第2回中日犯罪学学术討論会が成功裏に終わることをお祈り申し上げます。また、ご出席の皆様のご健康をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

